

## 令和5年度 第1回 北区入札監視委員会 議事概要

開催日時	令和5年7月7日（金）午後2時から3時30分まで
開催場所	北区役所 第一庁舎3階 庁議室
出席委員	沼田 良委員長、高橋 達朗委員、大竹 雅訓委員
事務局	総務部長、契約管財課長、契約係長、契約係主査
議事概要	<p>開会</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 総務部長挨拶</li> <li>3. 議事             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和4年度下半期 契約締結状況について</li> <li>(2) 令和4年度下半期 審議案件について                 <ol style="list-style-type: none"> <li>①制限付一般競争入札（1件）</li> <li>②総合評価方式（1件）</li> <li>③指名競争入札（2件）</li> <li>④随意契約（入札後随意契約）（1件）</li> <li>⑤随意契約（特命随意契約）（3件）</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>4. その他</li> </ol> <p>閉会</p>
審議の対象とした期間	令和4年10月1日から令和5年3月31日まで 312件（内訳：制限付一般競争入札5件、総合評価方式入札1件、希望制指名競争入札106件、指名競争入札75件、随意契約125件）
報告資料	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入札契約方式別発注総括表</li> <li>2. 入札契約方式別抽出案件一覧</li> <li>3. 各審議案件資料</li> <li>4. 審議案件補足資料、その他資料</li> </ol>
審議案件	合計 7件 「入札契約方式別抽出案件一覧」のとおり
主な意見・質問・回答等	別紙のとおり
備考	

## 令和5年度 第1回 北区入札監視委員会 議事概要 別紙

### 1. 令和4年度下半期 契約締結状況について

事務局から令和4年度下半期の契約締結状況を報告。  
平均落札率は90.6%であった。

### 2. 令和4年度下半期 審議案件7件について

事務局から資料「入札契約方式別抽出案件一覧」、「審議案件資料」に基づき報告し、審議を行った。

#### (1) 制限付一般競争入札（1件）

##### ①「東十条小学校別棟校舎新築工事」

委員の主な意見・質問等	区の主な回答等
<p>① について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化が進んでいる中で、別棟を新築するというのは、どういう事情があるのか。</li> <li>・入札不参加とはどういう状況か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここ数年、北区は子どもの数が増えており、別棟を建てている学校は数校ある。マンション開発や家族を形成する外国人世帯の増加が一因としてある。</li> <li>・当初は参加の意思を示したが、何かしらの理由で入札に参加しなかったものである。不参加であるため、その理由も不明である。</li> </ul>

#### (2) 総合評価方式（1件）

##### ②「路面補修等工事・汚水柵等調整工事（北1278号）」

委員の主な意見・質問等	区の主な回答等
<p>② について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施工能力を評価する入札において、一者のみの応札で落札しているが、どういう状況か。技術者の配置が極めて重要だが、それが欠けていることはないか。</li> <li>・競争もなく一者のみが入札することを解消する方法はないか。</li> <li>・資格要件を工夫することで対応できないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工能力評価点のうち、工事成績評価点が低いことが原因の一つとしてある。該当業種の件数自体が少なく、受注実績がないため実績の評価が低く算出されている。技術者の配置は資格要件に該当するため、欠けることは無い。</li> <li>・同じような工事を同じ時期に重ねて発注せず、タイミングをずらす等の対応は考えられるが、限度はある。</li> <li>・発注側は資格要件や発注図書等を実施可能と想定して設定しているが、当案件は契約変更を2回行っている</li> </ul>

	ことから分かるように、地域との調整や実務が想定以上に困難であり、受注者側はそのリスクを踏まえて辞退したことも考えられる。
--	--

(3) 指名競争入札 (2件)

③ 「石神井川堆積土搬出工事」

④ 「街路設置消火器の購入」

委員の主な意見・質問等	区の主な回答等
<p>③ について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一者のみの応札で、指名をしても辞退されてしまっている。指名の仕方の工夫はできないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川工事は、一般土木工事とは異なり特殊な業種のため、登録事業者が少ない。工事の概要は公示しているが、指名した時点で指名業者へ詳細な発注図書を展開しているため、工事概要をよく確認した結果、「辞退」となることもある。</li> </ul>
<p>④ について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再度入札となった際の辞退理由に「金額の対応ができない」旨の記載があるが、相場価格と設定した区の予定価格の比較はどうか。予定価格をどのように設定するのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定価格の設定は様々な方法があり、事業者から下見積もりを徴取して設定する場合もあれば、例年・実績ベースで予算取りして設定することもある。随意契約交渉は決して無理な値下げ交渉はしておらず、交渉の余地を探った結果、予定価格内に収まったものである。</li> </ul>

(4) 随意契約 (特命随意契約) (3件)

⑤ 「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金支給業務委託」

⑥ 「抗原定性検査キット梱包配送業務委託 (単価契約分)」

⑦ 「ポケベル波式戸別受信機 (文字表示機能付き防災ラジオ) の購入」

委員の主な意見・質問等	区の主な回答等
<p>⑤ について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北区内で対応できる事業者があればよかった。</li> </ul>	
<p>⑥ について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数業者から見積徴取とあるが、2者のみ。もっと多くの事業者に声をかけられなかったか。価格面の懸念がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染症対策の特性上、スピード感が必要、かつ他自治体間で事業者を取り合いする様相もあり、やむを得ない事情はある。</li> </ul>

<p>⑦ について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・類似機能を有するサービスはないのか。</li> <li>・便利で万が一の際に必要なツールではあるが、複数業者がない以上、競争はできず、価格面の懸念は残る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在のところなく、当商品は災害時でも届きやすい電波を使用している利点がある。</li> </ul>
--	---

審議結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・辞退理由はしっかり記載してもらえるようになってきた。特命随意契約は、妥当性確認書をしっかり運用できている。</li> <li>・競争入札の結果、辞退や不参加により一者のみの入札案件が引き続き散見される。ただし、背景を辿れば必ずしも一者のみの入札が悪いというものではなく、概ね適正な入札が行われている。しかし、区民目線では、「裏で話し合っている等あるのではないか」という疑いが生じてしまうことを気に留め、区として疑念を回避するような方策を可能な限り検討して欲しい。</li> <li>・総合評価方式の仕組みを考え直した方が良い。現在の仕組みでは、技術力の評価が難しいので、実際の事業者の技術・実績を評価できるように検討してほしい。</li> <li>・公契約は入札による一般競争入札が原則であり、それ以外の契約は例外である。北区は随意契約の件数・金額ともに前年より減っており、原則通り運用していることは評価できる。</li> <li>・社会情勢上の緊急事態が発生すると、随意契約を多用せざるを得なくなるが、その際は、随意契約でも複数事業者間の競争を踏まえることで、説得力が異なり、区民の受け取り方も変わってくる。税金を区民のために使っていることを的確に示すためにも、競争を促進し、入札が原則だということを踏み外さないことが今後とも必要である。</li> </ul>